

平成26年第1回教育委員会定例会記録

平成26年1月8日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会記録

日 時 平成26年1月8日（水）午後2時00分～午後2時28分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 馬場 俊一 職務代理者 田中 奈那子
委員 對馬 初音 委員 折井 麻美子
教育長 井出 隆安

欠席委員（なし）

出席説明員 事務局次長 吉田 順之 学校教育部長 玉山 雅夫
生涯学習スポーツ担当部長 本橋 正敏 中央図書館長 武笠 茂
庶務課長 北風 進 教育企画課長 筒井 鉄也
特別支援教育課長 塩畑 まどか 学校支援課長 青木 則昭
学校整備課長 喜多川 和美 生涯学習推進課長 濱 美奈子
スポーツ振興課長 高橋 光明 済美教育センター所長 田中 稔
済美教育センター統括指導主事 出町 桜一郎 済美教育センター統括指導主事 平崎 一美
済美教育センター就学前教育担当課長 加藤 康弘 特命事項担当副参事（子供園担当課長） 寺井 茂樹

事務局職員 庶務係長 井上 廣行 法規担当係長 岩田 晃司
担当書記 仲野 祥一

傍聴者数 1名

会議に付した事件

(報告事項)

- (1) 教育委員会の権限に属する事務における教育長の臨時代理の報告について
- (2) すぎなみ教育シンポジウム開催報告について
- (3) 小学生名寄自然体験交流事業の現地交流報告及び学習成果発表会の実施について
- (4) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について

目 次

議事録署名委員の指名について・・・・・・・・・・・・・・・・	4
報告事項	
（１） 教育委員会の権限に属する事務における教育長の臨時代理の報告に ついて・・・・・・・・・・・・・・・・	4
（２） すぎなみ教育シンポジウム開催報告について・・・・・・・・	5
（３） 小学生名寄自然体験交流事業の現地交流報告及び学習成果発表会の 実施について・・・・・・・・	8
（４） 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について・・・・・・・・	11

委員長 こんにちは。新年、明けましておめでとうございます。皆様、良いお年をお迎えになったのではないかなというふうに思います。2014年、平成26年、うま年ということで、私も名字が馬場なので、まさに「うま」かなと思うのですが、生まれは、うし年ですけれども、大変、嬉しく思っています。本当に良い1年になるように、そんなことを願いたいなと思いますが、今日から学校の方も3学期が始まって、いよいよ忙しい学年末を迎えるということで、子どもたちが、また伸び伸びと、次の学年に向かって進んでいっていけばいいなというふうに思っていますので、皆様にもまた、いろいろな面でお力添えをいただくことはあるのではないかなと思いますけれども、よろしく願いしたいと思います。

それから、今日の報告の中にもありますけれども、名寄市での自然体験学習と台北への親善野球の方、本当にお疲れさまでした。大変良い報告がまた聞けるのではないかなと楽しみにしています。特に、引率の先生方も、皆様含めて大変だったのではないかなと思いますが、子どもたちもいい思い出ができて、きっと、家の方でも、たくさんのお土産話を話しているのではないかなというふうに思っています。また、報告会を楽しみにしたいなというふうに思っています。

それでは、ただいまから平成 26 年第 1 回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。なお、本日の議事録の署名委員は折井委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

本日の議事日程は、ご案内のとおり、報告事項が4件となっております。

それでは日程第1 報告事項の聴取を行います。

初めに、「教育委員会の権限に属する事務における教育長の臨時代理の報告について」の説明を庶務課長からお願いいたします。

庶務課長 それではご説明申し上げます。

本件は、杉並区教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則第2条の2の規定に基づきまして、教育委員会の権限に属します事務について緊急に処理しなければならない事由が生じ、かつ教育委員会が招集されるいとまがなかったため、教育長の臨時代理により処理したことについてのご報告となります。

まず、臨時代理により処理した内容でございますが、東日本大震災に対処するための杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等の特例に関する規則の一部改正でございます。

続きまして、教育長の臨時代理により規則を改正した理由、及び規則の内容につきまして、ご説明を申し上げます。資料の3枚目をご覧くださいと存じます。1ページが新旧対照表、2ページが読替表になってございます。

東日本大震災の被災者のためのボランティア活動への職員の参加を容易にするために、学校教育職員、いわゆる区費教員につきましては、都費教員に準じまして、昨年12月31日までに限り、ボランティア休暇の特例として、日数の拡大等を定めてございました。東京都におきまして、被災地等では依然としてボランティア活動に対する需要があることから、昨年12月下旬に、この特例措置の適用期間を本年12月31日まで延長することといたしました。そのため、区費教員につきましても、都費教員に準じて延長する必要があり、教育委員会が招集されるいとまがなかったことから、昨年12月25日付けで教育長の臨時代理により、規則を改正したものでございます。

なお、改正した規則につきましては、昨年12月27日付けで公布をしてございます。

以上で説明を終わります。

委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの庶務課長のご説明にご質問等ありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

本当に早く、東日本大震災の被災者の方々が安心して生活できるようになれるといいなと思います。ありがとうございます。

それでは、続きまして、「すぎなみ教育シンポジウム開催報告について」の説明を学校支援課長からお願いいたします。

学校支援課長 12月21日に開催いたしました、すぎなみ教育シンポジウムについて報告いたします。

当日は、資料に記載がありますように、小中学生、教職員、保護者及び地域の方々など、461名の参加を得て開催することができました。

シンポジウム参加者のアンケート結果は別紙にございますので、別紙をご覧くださいと思いますが、「とてもよかった」、「よかった」が回答者の約9割を占めております。

第3部「大人へのメッセージ」で三屋さんがお話しされたように、お互いの違いを認める文化を醸成し、大人が大人自身の周囲を変えていき、学校、家庭に加え、地域に子どもたちが自信を持てる場所を増やしていくという方向性を示すこ

と等により、昨年8月4日に子どもたちから投げられたボールを返すシンポジウムになったのではないかと考えております。

なお、当日、参加者に配布いたしました、現在、各学校で行っている活動を紹介する冊子につきましては、各学校に配布し、情報共有を図ってまいります。

私からは以上でございます。

委員長 ありがとうございました。それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたら、お願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

田中委員 アンケートの結果と同じく、本当に良かったと思えますけれども、この結果の中にあるのですけれども、中学生が結構、会場の方に見えていたので、もう少し、子どもたちの意見を吸い上げて、意見を聴きたかったなというのが感想です。大人の意見は結構、会場の方からございましたけれども、もう少し、子どもたちが話したかった、というアンケート結果があるので、もう少し、うまく吸い上げてくださったら良かったかなと。次回はそれを期待しています。

学校支援課長 今回、「あまりよくなかった」の10件のうち、5件は中学生からのものございまして、やはりその理由は、もっと子どもたちの意見を発表する場が欲しかったということだと思いますので、またその辺も今後の参考にしたいと思います。

委員長 他にいかがでしょうか。

對馬委員 私も同じなのですけれども、夏の時の方が子どもたちの意見がたくさん出ていた気がしたので、私も夏の時の方がおもしろかったかなという気はしました。なかなか、ああいう場の中で、特に、大人がたくさん手を挙げている中で中学生が手を挙げて発言するというのは、だいぶ勇気もいるでしょうし、大変なことだと思いますが、せつかなので、子どもの声もうちょっと出ると、もっと良かったかなという気がします。でも、あれだけ多くの方が同じ場で同じ問題について共有したという経験が大事だったのかなというふうに思っています。とても良かったと思います。

折井委員 会場のことなのですけれども、次回以降、テーマが変わる可能性もあるのですけれども、もしかしたら、事前に申込み制になったということで、これは結構厳しくなされたのでしょうか。事前申込みをしていないと入れないということではなかったのですか。

学校支援課長 当日も、後ろの4列ぐらいは、当日、申込みがなくても、来られた

方のための席は用意してございましたので、当日、申込み無しでいらした方もおりました。

折井委員 もしかしたら、今回だけでも、こんなにも生徒さんを巻き込んだの大掛かりな、かなり盛り上がったというのでしょうか、そういう会になったので、もしかしたら、もう少し収容人数の多いところで、もっと生徒さんの部、若しくは大人の部のような形でやっていただくと、もっともっと興味を持ってくださる方はまだまだ潜在的にいらっしゃるのかなというふうに思いました。多くの人が集まれば集まるほど、その波及効果も大きいと思いますので、会場のこともちょっと考えていただけるとありがたいな、というふうに思いました。

学校支援課長 また、このいじめへの取組はつなげながら、もっと大きなうねりにしていきたいと思っております。

委員長 他にいかがでしょうか。

最初のところで、小学校の代表委員会も含めて、小学校の方からも取組の方、中学生のお兄さんたちから聞いて、ということでありましたが、大変すばらしい発表内容だったし、あれが全体にどこまで浸透しているのかなという部分があるのですけれども、たぶん、それぞれの学校で生きて働いている部分があるのではないかなと思って、大変嬉しいなという思いを持ちました。たぶん、校長会なんかでもそんな話が出てくるのではないかな、と思うのですけれども、ぜひ継続して、学校全体で、小中を含めてやっていくという、そんなところも続けていってもらえればなと思うし、これからまた、例えば、近隣の高校だとか、そういうところにも働きかけながらということ、たぶん、これはもう、かなり長い時間かけてやって意識づけをしていかなければならないのだろうなというのと、心の教育とか、その思いやりとか優しさとかというものをもっともっと、子どもたちだけではなくて大人の中でも考えていかなければいけない部分で、ぜひ何らかの形で継続しながら考えていくようなものをさらに突き詰めていっていただければなというふうに思います。よろしくお願ひしたいと思います。

学校支援課長 今回の中学生のアンケートの中でも、小学生と一緒に行っていききたいという心強い意見もございましたので、そういったところで広げていきたいと思ひます。

委員長 よろしくお願ひいたします。今度は、「あまりよくなかった」というのがゼロになるような、そんな中味になればいいかなと思ひます。

特によろしいですか。

では、特にありませんので、ありがとうございました。

それでは、続きまして、「小学生名寄自然体験交流事業の現地交流報告及び学習成果発表会の実施について」の説明を生涯学習推進課長からお願いいたします。

生涯学習推進課長 小学生名寄自然体験交流事業の現地交流報告及び学習成果発表会の実施について、ご報告させていただきます。

1の現地交流報告ですが、児童25人と、引率として教育委員長職務代理者の田中委員を始めとした12名で無事に天候も良く、飛行機等も予定どおりに発着しまして、名寄市に行ってまいりました。名寄市の方々のご協力のもと、無事にこの派遣事業については終了させていただきました。

事業の内容については、記載のとおりとなっております。なお、現地では、現地の児童25名が27日（金）ですが、集まってくれて、交流会、こちらでは名刺交換をしたり、いろいろ意見交換をしたり、スノーシュートレッキングをして、その後、アイスクリームづくり、それから、そり遊びなど、全て現地の25名と杉並区の児童25名と一緒に交流をし、大変楽しい時間を過ごしたように見受けられました。

なお、1月17日（金）、これからになりますが、学習成果発表会に向けて、学習指導と子どもも含めた親睦会を行う予定となっております。

次に、2の学習成果発表会の実施についてです。こちらの目的は、この事業の参加児童が事前学習会で名寄市について学んだ内容とか、あるいは名寄市での体験を自分でまとめ、それを本事業における学習の集大成とするものでございます。さらに、児童自らがそういった経験やいろいろな考えを発表するプレゼンテーションの機会としまして、自分の言葉で表現する力を養成することの一助としたいと考えてございます。

日時でございますが、平成26年2月16日（日）、午後2時から午後4時まで、会場を杉並区立科学館の講堂で実施する予定でございます。

内容としましては、児童25名が1人ずつ作文にまとめた自分の体験や学習の成果を講堂のステージ上で発表いたします。また、写真やイラスト等を交えて児童自身が紙の作品を作成しておりますので、それも会場において展示をするとともに、児童の発表の際、適宜、投影をいたします。

なお、科学館と名寄市立天文台「きたすばる」をインターネットで結びまして、

発表会を名寄市に同時中継します。名寄市の方々にもその中継を見ていただくとともに、講評などもいただくようなことを考えてございます。なお、名寄市の会場では現地児童にも声をかけていただいておりますので、インターネットを通じて名寄市の児童と、あとは、この発表会に来た杉並区の児童と再び何らかの交流をしたいと考えてございます。

なお、こちらの発表会につきましては、「広報すぎなみ」2月1日号に記事を掲載し、関心のある区民にも広く来ていただけるように周知をいたします。定員は当日先着順に100名といたします。

その他といたしまして、今回、児童がつくる作品と作文は、下記のとおり展示をし、区民の方に見ていただき、次世代育成基金についての周知としたいと考えてございます。

まず初めに、3月5日（水）から6日（木）、本庁中棟1階ロビーで展示をいたします。その後、3月13日（木）から17日（月）まで、阿佐谷地域区民センターの1階に阿佐谷ブラットリーという展示スペースがございますので、そちらでも土日を含めて、多くの区民の方に見ていただけるように展示を行います。

なお、この後になりますが、これらの作文及び作品につきましては、名寄市においても展示を行いたいというふうに申し出をいただいておりますので、実施をする予定をしております。後日発行する、この事業の報告書にも児童の作文等は掲載する予定となっております。

なお、資料のページをめくっていただきますと、2枚目に現地報告の写真を幾つか掲載してございます。出発式など、帰ってくるまでの写真を幾つか出しておりますので、ご覧いただければと思います。なお、この詳しい様子につきましては、区公式ホームページの「すぎなみほっと情報局」に抜粋と、「すぎなみ地域コム」のサイト内「杉並区社会教育関係施設等連絡会」というホームページの中にも、出発式から解散式まで、この間に飛行機に乗る様子であるとか、交流している様子、スノーシュートレッキングの様子、いろいろな写真を掲載してございますので、ぜひ、お時間のある時に見ていただければと思います。

私からは以上になります。

委員長 ありがとうございます。本当にお疲れさまでした。今のご説明について何かご意見等ありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

田中委員 暮れのお忙しい中、お見送りとお出迎え、ありがとうございます。ま

た、天候が不順ということで、次長とか馬場委員長から何度かご心配のメールやお電話をありがとうございました。本当に向こうでは珍しく天気恵まれて、帰りも本当に心配して、飛行機が飛ぶかどうかとと思っていたのですけれども、明るく日には旭山動物園なんて快晴で、本当にラッキーの一言で、全員無事25人、小さなけがはありましたけれども、大きなけがも病気もせず、スケジュールどおりの日程をこなせたことを本当に幸せだったなと思います。私も子どもたちと東京ではできない体験をさせていただいて、とても楽しかったです。

一昨年は見られなかったのですけれども、2日間ともお天気のおかげで、素晴らしい天体観測ができましたし、流れ星までおまけつきで、現地の方も見たことがないような、すごい流れ星も見ることができましたし、若田さんが乗っていらっしゃる国際宇宙ステーションも2日間とも、ゆっくり真上を飛んでいる様子も見えたので、今回行った子どもたちは本当にいい経験をしたのではないかな、と思っています。皆さんのおかげで、本当に子どもたちは幸せなのではないかな、と思います。

そして、今回、インターネットで先に名寄市の子どもたちと交流をしていたので、お見合い大作戦ではないのですけれども、「杉並のあの子が一番イケメンでナンバー1だ」とか名寄市の子どもたちが騒いでいたり、名刺交換も初めてお互いにしたりして、杉並区も名寄市の子どもたちも本当に時間が足りないほど、もっと一緒にいたかったという、そんな感想があったほどで、交流事業としては本当にうまくいったのではないかなと思います。

濱課長や井伊さんにも本当にいろいろご配慮いただいて、お疲れになったと思います。そして、名寄市の方たちのおもてなしは本当にすごいなと思いました。私も、十分なおもてなしを今後もしていきたいと思います。

委員長 ありがとうございました。本当にお疲れさまでした。また、素晴らしい体験ができたということで、良かったなと思います。

對馬委員 大きな事故もなく帰っていらしたということが何よりだったと思います。お疲れさまでした。

今回、応募者多数の中で25名が選ばれて行ったということで、今、田中さんのお話を聞いても、とてもいい経験をしてきたと思いますので、やはりできれば、科学館以外にも、自校などで自分たちの経験を広めていくということが、次世代育成基金を使って行った子どもたちの、ある意味、義務というか、大事なことな

のかなと思います。そういうふうを考えていくと、やはり選ぶ段階で、できれば1校1人が理想かなと私は思っていますので、次年度以降、そういう機会がまたあるようでしたら、ちょっと検討していただけるとありがたいかと思います。

生涯学習推進課長 実は抽選ということで、何校か、1つの学校から2名参加になりましたが、来年度以降、いろいろなご意見をいただきながら、課題としたいと考えております。

委員長 その辺含めて、また考えていただければと思います。

ちなみに、最低気温はどのくらいなのか、一番低いのは。

生涯学習推進課長 今回は、昨年ほどは寒くはなく、最低気温は確かマイナス6、7度とか、そのぐらいだったかと思います。

委員長 アイスクリームをつくったら、そのまま、すぐ凍ってしまうかもしれない。そんなことはないですか。

生涯学習推進課長 アイスクリームづくりも、雪をビニールの袋に入れて、その中にペットボトルに生クリームなどを入れて、あと、雪の中に塩を入れて、何分か振ると固まるというような、やはり、現地ならではの体験だったと思います。

委員長 帰ってきた子どもたちの顔を見ると、ちょっと疲れた顔をしていましたけれども、お家の人にもいろいろな話をすぐにしている姿が見えたので、本当にいい思い出ができたのではないかなと思います。

他によろしいですか。

では、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

それでは、続きまして、「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について」の説明を、引き続き、生涯学習推進課長からお願いいたします。

生涯学習推進課長 引き続き、「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について」、ご報告させていただきます。

平成25年11月分になります。資料をご覧ください。

使用承認一覧に記載しておりますが、11月の件数の合計は31件。内訳として、定例としては25件、新規が6件となっております。なお、共催、後援の内訳につきましても共催が9件、後援が22件となっております。累計につきましても、記載のとおりとなっております。

それでは、新規が生涯学習推進課2件、庶務課1件、学務課1件、中央図書館2件ございましたので、そちらについて個別にご報告をさせていただきます。

まず、ページをめくりまして1ページ目をご覧ください。生涯学習推進課の2件の新規ですが、1件目は名義形態が共催となります。団体名は「チーム『減災』すぎなみ実行委員会」。事業名は「チーム『減災』すぎなみプロジェクト～自ら歩き自ら気付く『減災オリエンテーリング』～」となっております。開催期間は25年9月2日から26年3月31日でございます。

2番目でございます新規、こちらは後援でございます。団体名は「杉並オラトリア合唱団」。事業名は「杉並オラトリア合唱団演奏会」でございます。開催期間は26年4月6日となっております。

1ページおめくりいただけますでしょうか。庶務課の新規がございます。一番上の記載になりますが、名義形態は後援。団体名は「宮城復興支援センター」。事業名は「国際交流イングリッシュスプリングキャンプ」となっております。開催期間は26年3月22日から6月8日までとなっております。

もう1ページおめくりいただき、3ページ目をご覧くださいいただけますでしょうか。こちらに学務課の新規がございます。名義形態は後援。団体名は「杉並健康づくりリーダーの会」。事業名は「三國シェフに聴く！『味覚は心と気持ちを豊かにする！』」となっております。開催期間は26年1月21日でございます。

最後に、7ページ目をご覧くださいいただけますでしょうか。中央図書館の新規がございます。こちらの一番上の行、名義形態は後援。「マザーグースの会」。事業名は「おはなしの会」。開催期間は26年3月1日となっております。

続きまして2行目、新規、こちらにも後援でございます。こちらの団体名は「荒正人『文化デモンストレーション研究会』」。事業名は「講演会：記憶の場『嵐が丘』」となっております。開催時期は26年1月25日となっております。

私の方からは以上になります。

委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの説明に、ご質問等ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいですか。では、ありがとうございました。

報告事項は以上となります。

以上で、予定されておりました日程は全て終了いたしました。庶務課長、何か連絡事項はございますか。

庶務課長 次回の教育委員会定例会のご案内でございます。次回は1月22日（水）、午後2時を予定してございます。よろしくお願いたします。

委員長 それでは、次回の定例会は1月22日（水）午後2時ということで、ご予定をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは本日の委員会は閉会させていただきます。また、この一年、よろしくお願ひいたします。お疲れさまでした。